



米国株 MARKET PICK UP



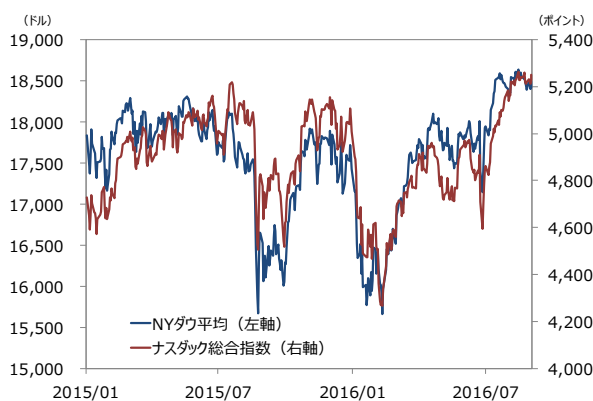
先週の米国株式市場—堅調な米経済への期待などから上昇—

	前週終値	8月29日	8月30日	8月31日	9月1日	9月2日	週間騰落幅	週間騰落率
ダウ平均	18,395.40	18,502.99	18,454.30	18,400.88	18,419.30	18,491.96	+96.56	+0.52%
騰落幅		+107.59	-48.69	-53.42	+18.42	+72.66		
S&P500	2,169.04	2,180.38	2,176.12	2,170.95	2,170.86	2,179.98	+10.94	+0.50%
騰落幅		+11.34	-4.26	-5.17	-0.09	+9.12		
ナスダック総合指数	5,218.92	5,232.33	5,222.99	5,213.22	5,227.21	5,249.90	+30.98	+0.59%
騰落幅		+13.41	-9.34	-9.77	+13.99	+22.69		

<先週の概況>

先週の米国株式市場は、ダウ平均が週間で96ドル高となるなど主要3指数が揃って上昇しました。米経済は堅調に成長していることへの期待などから株が買われました。2日に発表された米雇用統計は市場予想をやや下回ったものの、早期利上げ実施は変わらないとの見方から米金利は上昇傾向となりました。

NYダウ平均とナスダック総合指数の推移



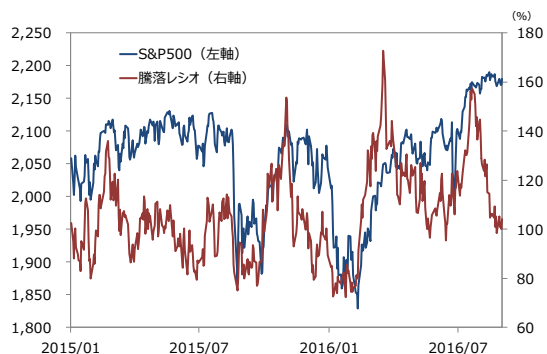
(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

米国株式市場バリュエーション

指数	予想PER (倍)	PBR (倍)	予想配当利回り
ダウ平均	17.5	3.2	2.6%
S&P500	18.5	2.9	2.1%
ナスダック総合指数	22.5	3.6	1.2%

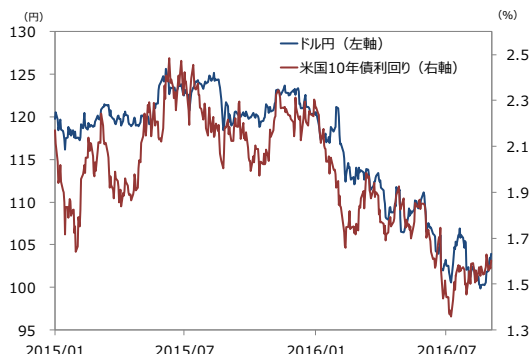
(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成 (2016年9月2日時点)

S&P500と騰落レシオの推移



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

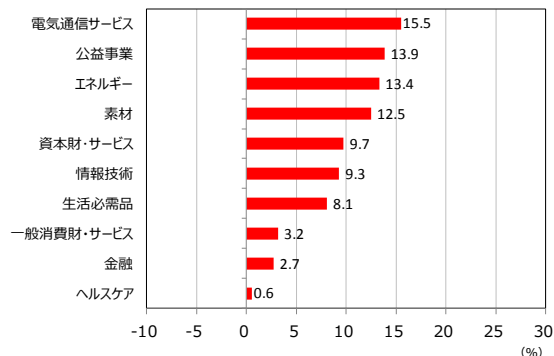
ドル円と米国長期金利の推移



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

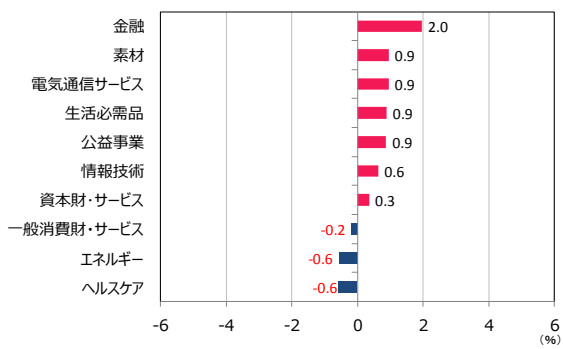
業種別リターン

S&P500 業種別年初来リターン



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

S&P500 業種別週間リターン



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

ダウ平均採用銘柄 週間騰落率ランキング

値上がり率ランキング (8/29-9/2)

ティッカー	銘柄名	週間騰落率 (%)
INTC	インテル	2.3
GS	ゴールドマン・サックス・グループ	1.9
JPM	JPMorgan・チェース・アト&カンパニー	1.9
WMT	ウォルマート・ストアーズ	1.9
V	ビザ	1.8
VZ	ベライゾン・コミュニケーションズ	1.6
CSCO	シスコシステムズ	1.5
TRV	トラベラーズ・カンパニー	1.5
MCD	マクドナルド	1.2
KO	コカ・コーラ	0.8

(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

値下がり率ランキング (8/29-9/2)

ティッカー	銘柄名	週間騰落率 (%)
NKE	ナイキ	-1.7
CAT	キャタピラー	-1.2
DIS	ウォルト・ディズニー	-0.8
BA	ボーイング	-0.8
MSFT	マイクロソフト	-0.6
CVX	シェvron	-0.4
UTX	1ナテット・テクノロジー	-0.4
PFE	ファイザー	-0.1
UNH	1ナテットヘルス・グループ	-0.01

(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

<上昇>

ダウ平均採用の30銘柄中21銘柄が上昇しました。追加利上げが近づきつつあるとの思惑からゴールドマン・サックス (GS) とJP モルガン (JPM) の金融2社が買われました。また、ウォルマート・ストアーズ (WMT) は7,000人規模の人員削減に踏み切ると伝わりコスト削減期待から買われています。

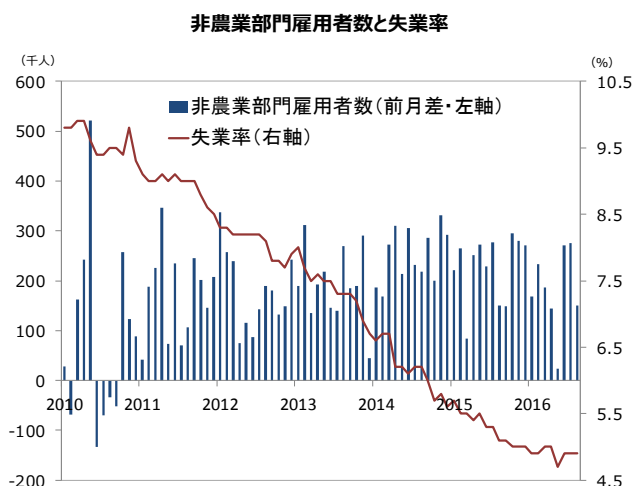
<下落>

ナイキ (NKE) やキャタピラー (CAT)、ウォルト・ディズニー (DIS) など9銘柄が下落しました。

先週発表された主な経済指標

非農業部門雇用者数 8月 +15.1万人 市場予想 +18.0万人 前月 +27.5万人
 平均時給（前年比） 8月 +2.4% 市場予想 +2.5% 前月 +2.7%

2日に発表された雇用統計は、全般的に前月から横ばいまたは悪化して市場予想をやや下回る微妙な内容でした。非農業部門雇用者数は前月差15.1万人増と前月から伸びが低下し市場予想の18.0万人増を下回りました。これにより6-8月の3ヶ月間の雇用者数の伸びの平均は23.2万人、1-8月の平均は18.1万人となっています。平均時給の伸びもやや弱く8月は前年比2.4%増と市場予想の2.5%増を下回っています。8月の雇用統計は全般的に「現状維持からやや悪化」と言った内容で、9月に利上げが実施されるか非常に判断に迷う極めて「微妙な」結果だったと言えます。



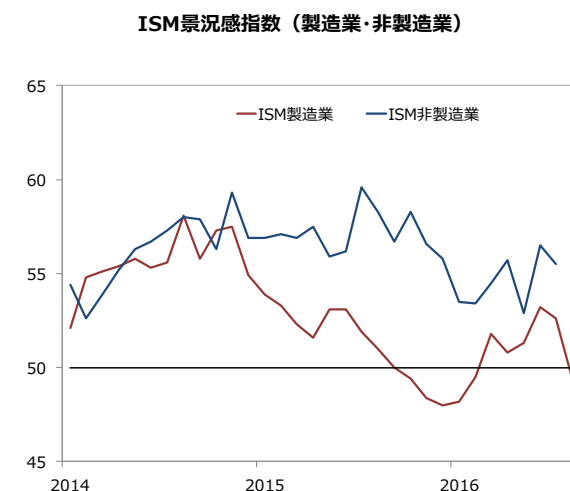
(出所)トムソン・ロイターデータよりマネックス証券作成

今後発表される主な経済指標

8月分 ISM 非製造業景況指数 市場予想 55.0 前月 55.5

6日にISM非製造業景況指数が発表されます。先に発表された製造業景況指数は49.4と前月の52.6から大幅に悪化し、半年ぶりに改善と悪化の境目となる50を下回りました。

市場予想では非製造業指数も前月の55.5から小幅に悪化して55.0まで低下するとみられています。



(出所)トムソン・ロイターデータよりマネックス証券作成

マーケットビューー引き続き利上げを巡る思惑が重要に一

先週のマーケットビューーでは雇用統計が堅調であれば9月の連邦公開市場委員会（FOMC）で利上げが実施されるとの思惑が高まり、米金利の上昇とドル高を招きやすそうと記しました。雇用統計はやや微妙な結果でしたが、概ね想定通り米金利は上昇基調となり円安ドル高が進みました。

今週も引き続き9月のFOMCで利上げが行われるかという思惑がマーケットを動かすことになりそうです。材料としては、6日のISM非製造業景況指数、労働市場情勢指数（LMCI）、7日の地区連銀報告（ベージュブック）などが注目されます。また、金融政策の現状維持が予想されているものの、8日の欧州中央銀行（ECB）政策理事会も大きなイベントです。

フィナンシャル・インテリジェンス部 益嶋 裕

当社は、本書の内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。記載した情報、予想及び判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。過去の実績や予想・意見は、将来の結果を保証するものではありません。提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。当社は本書の内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。本書の内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。内容に関するご質問・ご照会等にはお応え致しかねますので、あらかじめご容赦ください。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号
 加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会